福井鉄道設備更新特別支援事業(第二期)

区分継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		地域戦略部		課名		地址	 或鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主体 事業実施方法 補助率	福井鉄道株式会補助 国1/3、県2			事務		自 治 弘 法定受託		事業区分		実行予補 助 その	金 開	業地度	H20 経過年数 13	年度年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4	年度
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分 野 政 策 〔	まちづくり	のまちづくり)			計画等	[(0)			10	+	(支))	
[事業目的] 福井鉄道福武線の	安全確保等を図	図るため、福井館	鉄道の設備更新お。	よび大規札	塻修絲	善に要する	経費	に対して	支援	を行う	0						
[事業内容] ・安全輸送に係る! レール・分岐		と備更新、大規模)交換、道床の 頭		、電車	車線更新、	電車	線柱更新										
[受益者] 福井鉄道						[想定さ	れる受	益者数]	福井	鉄道利用	用人員	約20	0 4 万人/	′年(平	² 成30年度Ⅰ	诗点)	
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事 (実績) ・県は利用促進・	業名 福井鉄道				市町と	の連携状況		設備挖	投資 1 2	. 9億	急円、沿線	市が維	・令和4年度の 持修繕費7. き実施する。	5 億円		

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点
平成30年度実績	・国費不足によりR1に予定していた設備投資をR2に
・3年連続で利用人員200万人達成	実施予定

福井鉄道設備更新特別支援事業(第二期)

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内		部局	名	地域戦略	部	課名	地	.域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主	主体	福井鉄道	株式会社				市功	•	自 治	事			口 実行予算	事業	H20	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	補助					事務区分				事業区分		■ 補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	国1/3	、県2/3						法定受	受託事	務		口 その他	年度	13	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		=	一般財源			国	庫、その他	財源の	2名称等		
予算額		349, 201									349, 2	01							
[予算額の推	移等]																	(単位	: 千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等	を踏まえた	2 年度の	変更点			
<u> </u>	首初 予 算	額の推	の 推 移 152,537 211,737 349,201 額 の 推 移 152,537 186,401 ・設備投資計画にいて、国費イ																
2 月	現計予	額 の 推 移 152,537 211,737 349,201 算 額 の 推 移 152,537 186,401 ・設備投資計画にいて、国費不足										国費不足によ	りR1に	予定してい	た設備	請投資をR2Ⅰ	こ実施予	定	
	決 算 額	の推移		152, 537															
前年度ま 主な増減 上 に成果指標等	或理由																		
[]从木]日1末寸	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4年	审				日煙・		え方・積算	根圳			
成果指標	福井鉄道和		 (目標) 実績	(2, 080) 2, 040	(2, 011)	(2, 014)			000)				間利用人員(単 1,200千人(R	位:千人		-1K JÆ			
活動指標		実績 2,040 (目標) 福井鉄道の設備改善等 実績 じまない										等に要する経費	に対して	支援を行う	もので	きあり、活動	指標の設	定にな	
他県の	状況	道」と「 (富山県) ・国の鉄道 万葉線」	軌道安全輸送 のと鉄道」に 軌道安全輸送 と「富山地方 [: 国1/3、県1	鉄道事業者 講事業へのは	: 国1/3、リ 品調補助と	県1/3) して「(路	子)	関		:の有無・ 分担		■ 無 □ 有 □ (役割分担)	事業名						

えちぜん鉄道基盤整備支援事業

													-			
区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	地域戦		課名	地	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主体 事業実施力 補助率	法	えちぜん鉄道林 補助 国1/3、県2			事務」区分		自 治 事法定受託	事	業 分 □	補助金	事業 開始 年度	H14 経過年数 19	年度年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3	年度
福井県長期ビにおける位置	ジョン	分 野 政 策	[まちづくり	 そのまちづくり]		ら県の計画等				1 .,	' '	IX))	
[事業目的] えちぜん鉄 [事業内容]	道の安全	全確保等を図る	き、えちも	ぜん鈴	鉄道の設備	投資、土地	也賃借に	こかかる経	費に対し	.て支援を 	·行う。	0				
• 土地賃借 資産取		を継続している	に対する補	甫助												
 「受益者〕 <i>え</i>	ちぜん斜	谱					「想定され	1る受益者数	1 7	ちぜん鉄道和	田人昌	約360万	.人/年	F(平成30 ^年	王度時占)
			業名 えちぜん	鉄道基盤整備支援事業	ŧ			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	۰. ۲.					F度~令和3 ⁵		
前事業の有無	・実績	・えちぜん鉄道か を行ってきた。		確保のための設備投資 集中制御化や変電所の ほぼ完了			1	町との連携	状況		備投資約			が経営支援と		

[事業の評価]

前年度の実績	実績を踏まえた令和2年度の変更点
平成30年度実績 ・利用人員369万人達成	・材料費や労務単価の高騰等による事業費の増加

えちぜん鉄道基盤整備支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	内		部局名		地域戦略部	3	課名	地	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主	E体	えちぜん	, 鉄道株式会社	•					自 治 事	務			実行予算	事業	H14	年度			
事業実施	方法	補助					事務区分				事業区分		補助金	開始	経過年数	汝	予定年度 (見直し年	R3	年度
補助	率	国1/3	、県2/3				- "		法定受託	事 務			その他	年度	19	年	度)		
区分	事美	業費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		一般	財源			国	車、その	他財源0	の名称等		
予算額		499									499								
[予算額の推	 :移等]	100																(単位	: 千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度			実績等を踏まえた2年度の変更点・材料費や労務単価の高騰等による事業費の増加									<u> </u>	
当	前初 予 算	額の推	 移	88, 799	193, 437	499			実績等を踏まえた2年度の変更点・材料費や労務単価の高騰等による事業費の増加										
2 月	現計予	算額の	推 移	174, 982	290, 583		-	・材料費や労務単価の高騰等による事業費の増加 の補正予算にあわせて平成28年度12月補正へ前倒し											
	決 算 額	の推移		173, 776															
前年度ま 主な増減																			
[成果指標等	の推移]																		
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 1	年度				目標・	指標の考	え方・積色	算根拠			
成果指標	 えちぜん鋭	 美道利用人員	〔目標〕 実績																
活動指標			(目標) 実績						えちぜん鉄道が実施する設備投資に要する経費等、鉄道経営の基盤整備に必要 ⁷ して補助するものであり、活動指標の設定になじまない								必要な経	費に対	
成果指標 えちぜん鉄道利用人員 (目標) (3,630) (3,730) ま積 (目標) (3,699 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標)																			

えちぜん鉄道高架化支援事業

区分 継続	経費区分 政策的経費	シーリング			部局名	地域戦略部	3	課名	地	域鉄道課	課長名	大石	秀昭
事業主体	えちぜん鉄道株式会社				自 治 事	務		実行予算	事業	H16 ±	丰度 事業終了		
事業実施方法	補助		事 務区分			事業区分	•	補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R1	年度
補助率	県2/3、市町1/3				法定受託	事務		その他	年度	17	年 度)		
福井ふるさと元気宣言	ビジョン 〔 まちづくり)	明本ナフ	「月の計画体	٢					١	
における位置付け	政 策 [100年に一度のる	まちづくり]	関連する	り県の計画等	(J	
[事業目的]													
えちぜん鉄道の定	時性や安全性の確保を図るため、	県と沿線市町と	との合意に	こ基:	づき、福井県	駅~福井口駅	間の	高架化に	要する経	費に対して	て補助する。		
[事業内容]													
• 連続立体交差事	業による鉄道事業者負担分につい	いて、県2/3、	沿線市町	け1 /	/3の補助	を実施							
埋文調査(遺	物整理)、事業損失補償												
[受益者] 県民、市民	きなど しゅうしゅう				[想定され	ルる受益者数]							
	■ 無												
	□ 有 事業名												
	(実績)							 ラナギ/ 針	送の汎舶	古町(土鉄) 古事	要学名中心の 1	/ 2 左士:	押して
前事業の有無・実績					市	町との連携状況	•			巾叫は妖坦寺 事業を推進し	『業者負担分の 1 <i>/</i> ノている。	/ 3を又	抜しく
									<i>IIII</i> -15 C	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
[事業の評価]								_					
	前年度の実績		実績を踏	まえた	全令和2年度	の変更点		1					
事業完了													

えちぜん鉄道高架化支援事業

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	シー!	リング	0	部局名 地域戦略部 課名 地域鉄道									課長名	大石	秀昭
事業主	E体	えちぜん	鉄道株式会社	-			+ 2h		自 治	事			口 実行予算	事業	H16	年度			
事業実施	方法	補助					事務区分				事業区分		■ 補助金	開始	経過年数	Ţ	予定年度 (見直し年	R1	年度
補助	率	県2/3	、市町1/3				- //		法定受	受託事			口 その他	年度	17	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		-	一般財源			国	庫、その他	財源σ	D名称等		
予算額																			
了异似		0						(諸)6	, 788		△ 6,78	88							
[予算額の推	:移等]																	(単位	: 千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等を	を踏まえた	2 年度の	変更点			
<u> </u>	前初 予 算	額の推	移	47, 023	618			実績等を踏まえた2年度の変更点 北陸新幹線建設工事にともなう高架下用地等の賃貸料収入											
2 月	現計予	算額の	推移	45, 444	2, 786														
	決 算 額	の推移		44, 843]	北陸新幹線建設工事にともなつ高架ト用地寺の眞貞料収入											
前年度ままな増減	越理由																		
[成果指標等				0.0/5	A 10 = 6 pt	0.55	0.55	4 /	- ф				口柵	比価の老	二十 硅学	r +□ +hn			
	区	分			令和元年度	2年度	3年度	4 4	F度						え力・ 槓昇	上 恨拠			
成果指標	えちぜん鉛	 達 道 利 用 者 数		(3, 630)	(3, 730)														
			実績	3, 699									-		A.I	£ 1= 111 =	- ++ 40 ++ 14.		
活動指標			(目標) 実績					えちぜん鉄道が実施する設備投資に要する経費等、鉄道経営の基盤整備に必要な経費に して補助するものであり、活動指標の設定になじまない								費に対			
他県の	状況		2514	,	,		,	えちぜん鉄道の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数3,330千人(R3年度) えちぜん鉄道が実施する設備投資に要する経費等、鉄道経営の基盤整備に必要な											業(え

小浜線利活用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	地域戦略部	ß	課名	地	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主	体	小浜線利用促	進団体		± 24		自 治 事	務		実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助			事 務 区 分			事業区分	■	補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助革	<u>×</u>	県1/2、嶺	南広域行政組合 1 /	/ 2	E //		法定受託事	事務 こり		その他	年度		年	度)		
福井県長期と	ごジョン	分 野	[まちづくり)		明 油 士 2	リの 計画生	٢						ז	
における位	置付け	政 策	[100年に一度	でまちづくり)			県の計画等	(J	
[事業目的]																
令和5年	(2023	3年)春の北	陸新幹線福井 •	敦賀開業を見据え、	日常の足	ل ع	ての小浜約	泉の利便性を	向上	:するとと:	もに、開	業効果を	嶺南	地域に波及	させるか	こめの
			用の促進、魅力[_			
	度について	は、嶺北地域	或から嶺南市町 [。]	への観光周遊につい	ハて、小浜	線の)利用促進る	を図るため、	小浜	樣利用促達	佳協議会	が実施す	るモ	ニターツア	一に対し)支援
する。																
[事業内容]																
増北から	岩南市町な	- 行先とした:	モニターツアー	(※) 開催支援												
(※)	KILLI (I) E.I G			(水/)加胜人)及												
1回	数 :	年3回														
②定員		80人/回														
②内?				入れる臨時列車と、	-	二次	マ交通を利用	用し、嶺南の	2市	「町以上をど	かぐる					
(3)開作	崔時期 :	その市町に	おいて大規模イク	ベントが開催されて	ている時期											
[受益者]							[想定され	る受益者数]		_						
	I	無無														
	1	□ 有 事	業名													
		(実績)														
共市ポッナを		(大順)									が加出し	た各切会で	生式	た「場南鉄	首敕 佛伊.	准
前事業の有無	乗・実績 │	(大順)					市	町との連携状況	ł			た負担金で	造成し	った「嶺南鉄道	直整備促	進基
削争兼の有無	悪・実績	(大順)					市	町との連携状況	2	嶺南 6 市町 金」を活用		た負担金で	造成し	した「嶺南鉄道	道整備促 。	進基
則争兼の有業	悪・実績	(大順)					市	町との連携状況	ł			た負担金で	造成し	した「嶺南鉄〕	<u>首整備促</u> :	進基
		(大順)					市	町との連携状況	l			た負担金で	造成し	った「嶺南鉄道	道整備 促:	進基
前事業の有業 「事業の評価」									ł			た負担金で	造成し	した「嶺南鉄道	直整備 促:	進基
		前年度の実績	·		実績を踏ま	こえた	·令和2年度(た負担金で	造成し	した「嶺南鉄道	道整備促 治	進基
			責		実績を踏ま	こえた			ł			た負担金で	造成し	した「嶺南鉄道	直整備 促:	進基
			į		実績を踏ま	えた						た負担金で	造成し	した「嶺南鉄道	道整備促	進基
			責		実績を踏ま	ミえた			1			た負担金で	造成 U	した「嶺南鉄道	直整備 促:	進基
			Į.		実績を踏ま	<i>えた</i>			2			た負担金で	造成し	した「嶺南鉄道	道整備促	進基
			責		実績を踏ま	えた			1			た負担金で	造成 U	した「嶺南鉄道	直整備促 :	進基

小浜線利活用促進事業

区分	新規	経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内		部	局名	地域戦	战略部		課名	地	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主	上体	小浜線利	用促進団体						自	治事	務			実行予算	事業	R2	年度			
事業実施	拖方法	補助					事 務区分				事区	業 分		補助金	開始	経過年	汝	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	県1/2	、嶺南広域行	i政組合 1 /	/ 2		- "		法 定	受託事				その他	年度	0	年	度)		
区分	事	 業費	国国	Į.	起	債	そ(の他		_	·般財源				国	車、その [・]	也財源 <i>0</i>	2名称等		
予算額		1, 759							1, 759			0	地	!域振興基金	(琵琶湖	若狭湾鉄	道の建言	役基金)の繰り	入金	
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度								実績等を	と踏まえた	2 年度の	変更点			
当	首初 予 算	額の推	移			1, 759														
2 月	現計予	算額の推移 1,759 予算額の推移 額の推移																		
	決 算 額	の推移																		
前年度ま 主な増減 	越理由																			
[八木田保守	- VIE19] 	分		20年度	令和元年度	2 年度	3 年度	11	<u> </u>					日堙.	指標の考え	ラ七・珪・	曾 田 伽			
		ת			节机兀平及	2 年及	3 年度	4 -	牛 皮					口惊	拍係の方	ん刀・惧:	异似炒			
成果指標			(目標)																	
			実績			(0)														
活動指標	ツアー開催	崖支援回数	(目標)			(3)				年3回]									
他県の	状況		<u>実績</u>						Ī	関連事業 役割			(役		事業名					

地域鉄道振興事業

区分 継続	│ 経費区分 │ 政策的経費 │ 要才	校基準 内	部局名	地域戦略部	課名	地域鉄道課	課長名	大石 秀	与昭
事業主体	県		自 治 事	務	■ 実行予算	事業 R1 年度	事業終了		
事業実施方法	直営	事務		事業] 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助率	_		法定受託事	⋾務	こその他	年度 2 年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 まちづくり]	関連する	県の計画等					
	政 策 〔 100年に一度のまちづく	(1)							
[事業目的]									
	住民が地域鉄道の活性化や沿線の魅力 度向上と利用者の増加を図る。	について考える機会を記	设けること ⁻	で、鉄道への関	心や理解を済	深めるとともに、沿続	もの新たな魅	力創出に。	よ
[事業内容]									
• 越美北線 6 (/ョップの開催 おスポットの募集 周年記念イベントの開催								
[受益者] 県民全体			[想定され	る受益者数] —					
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)		市	町との連携状況					
[事業の評価]									
	 前年度の実績	実績を踏まえた	こ令和2年度(の変更点					
写真展:2回(永平寺 講演会:2回(永平寺 ※R2.1に小浜市でも写	町、大野市)	令和2年度は、参加者自身 えるワークショップを新力	らが地域鉄道(

地域鉄道振興事業

区分	継続	経費	区分 政	策的経費	要求	基準	内		部局名		地域戦略部	3	課名	地	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主	主体	県							自治	事務		•	実行予算	事業	R1	年度			
事業実施	拖方法	直営					事 務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	汝	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助	率	_							法定受訊	£ 事 務			その他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国	庫	起	債	そ(の他		一般	財源			国	車、その [・]	也財源σ	2名称等		
予算額		1, 225									1, 225								
[予算額の推	 [移等]	1, 220			1						1, 220	1						(単位	: 千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2年度							実績等を	と踏まえた	2 年度の	変更点		<u> </u>	. , , , ,
<u> </u>	当初 予 算	額の推	 移		1, 255	1, 225													
2 月		算額の	推 移		1, 255														
	決 算 額	の推移																	
主な増減	当 初 予 算 額 の 推 移 2 月 現 計 予 算 額 の 推 移 決 算 額 の 推 移																		
		Δ		20年度	令和元年度	2年度	3年度	1 4	丰度				日播 .	指標の考	ラ七・種*	当日加			
	1				节机兀平及	2 年及	3 年及	4 -	十段				日保	旧保の方	ん刀・惧:	异似炒			
成果指標		への県民理角							指	標を達	重成するため	、誤	関を検討						
			実績		(5)	(5)													
活動指標	写真展、講	構演会等の写			6						展、講演会 ^会 クショップ・		^剅 、女子旅1圓	3					
他県の	状況		<u>実績</u>						関連		有無・	■	無	業名					

並行在来線旅客流動調査・需要予測調査事業

区分	新規	経費	費区分	政策的	経費	要求基準	隼	内		部局名		地域戦略部	3	課名	地	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主	体	県						車。			事 務			実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施:	方法	委託						事 務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	t	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助率	<u> </u>	_						- //		法定受託	事務			その他	年度		年	度)		
福井県長期ヒ における位		分 政	野 〔 策 〔		づくり ¥に一度	のまちづくり]	関連す	る県の	計画等	()	
[事業目的]	_																			
令和2年 ⁻ について検言		こ公表予	定の収	支見通し	」の基 礎	楚資料とする	らため、	以前に行	うつか	た旅客流動	訓酒査	および需	要予	測調査を	再び実施	し、実情	青に合	った収支計	画・資金	金計画
[事業内容]																				
	F12月り ついて検討		長予定の!	収支見過	通しの基	基礎資料とす	るため	か、以前に	こ行っ	った旅客流	動調	査および	需要	予測調査	を再度実	施し、乳	実情に	合った収支	計画・う	資金
	2 5 年度 3 0 年度					隻:旅客流動 艾30~31												営基本調査		
- 4 - 1	-t																			
	一在来線	区間(石				D現在の利用 十画および資											とに車	両や鉄道施	設・設付	備等
 [受益者] !	県民全体									[想定さ	れる受	· 查益者数]	_							
		■ 無 □ 有 (実績)	事業	名																
前事業の有無	・実績									Ī	市町と	の連携状況	•							
[事業の評価]																				
「事業の計画」		前年日	度の実績					宝結た跡	キ ラナ	と令和2年	年の亦									
		HI) + 12	文の大根					大恨で印	<i>ه ۸ ۱</i>	_ TI TH Z +1	支い友	文 示								

並行在来線旅客流動調查 · 需要予測調查事業

区分	新規	経費	区分 政策	货的 経費	要求	基準	内		部局名	1	地域戦略部	3	課名	地	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業主	E体	県						•	自治	事 務			実行予算	事業	R2	年度			
事業実施	方法	委託					事務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	女	予定年度 (見直し年	R2	年度
補助	率	_					- "		法定受	託事務			その他	年度	0	年	度)		
区分	事	 業費	国儿	車	起	債	そ	の他		— 舟				国厂	・ 車、そのſ	也財源σ	D名称等		
7 M 4T																			
予算額		26, 367	,								26, 367	,							
[予算額の推	· :移等]	20,007							l .									(単付	: 千円)
	区	分		3 0 年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	2年度の	変更点			. 1137
当	前 初 予 算	額の推	移			26, 367	1												
2 月	 現 計 予	算額の	 推 移				-												
		の推移					_												
	<i>(</i>)																		
前年度ま 主な増減																			
土は垣が	以连田																		
[成果指標等	の推移]																		
	区	分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4 1	丰度				目標・	指標の考え	え方・積算	算根拠			
成果指標		案を策定す 生来線の主																	
	項についる	ェネ版のエ: C検討	_{女尹} 実績																
活動指標			(目標)						3	並行在多	来線会社の経	E営計	+画案の策定	に向けた	調査・検	討を行う	う事業であり、	活動指	標の設
/ 1 判 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			実績						5	定になり	じまない								
													無						
												•	有 事	業名	並行在来	線対策	事業		
			付2 4 年度に同ける 4 2 4 年度に同ける 1 2 4 年度に同ける 1 2 4 年度に同じる 1 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4									(名	设割分担)						
他県の	状況	岳山宗 「 	7 4 牛皮に	ŋ詗 <u>囯</u> 夫肔)有無・ >+0								
			3 セク先行県に				しており、			役割分	1년						計画について		
		327 2	会社の設立に向	切り し必安/	下り入る詞1	且にめる							₣業の中の並 テう経営計画			会・幹事	事会において	ิâ議・検	討を
												1	」ノ吐舌可凹	に及収り	٠٠				

並行在来線新駅設置支援事業

区分新規	経費区分 政策的経費	要求基準	内		部局名	引名 地域戦略部		課名 均		地域鉄道課		課長名 大石		秀昭
事業主体	沿線市町、並行在来線会社		- 		自 治 事	務		実行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施方法	補助		事務区分			事業区分	■	補助金	∫金 開始 経済			予定年度 (見直し年	R7	年度
補助率	県1/2				法定受託事	系 務		その他	年度		年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 〔 まちづくり 政 策 〔 100年に一度の	つまちづくり]	関連する	県の計画等	()	
[事業目的]														
並行在来線の新駅	整備効果の測定を促すとともに	市町の建設費負担	旦を軽減し	., Ξ	Eセク会社の	の収支改善に	つなが	がる新駅の	の設置を	推進する	0 0			
[事業内容]														
	市が実施する「新駅立地 県1/2(上限3, 00 福井市、鯖江市、越前市	市町が補助する。 可能性調査」に対 0千円)	対する補助	 ታ				用の一部(こついて	補助する	。ま	た、三セク	会社が写	美施
[受益者] 県民全体					[想定され	る受益者数]	_							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				市	町との連携状況								
[事業の評価]														
	前年度の実績		実績を踏っ	まえた	合和2年度	の変更点								

並行在来線新駅設置支援事業

区分	新規	経費	区分 政策	传的 経費	要求	基準	内		部)								大石	秀昭	
事業主	上体	沿線市町	「、並行在来糺	泉会社					自	治事] 実行予算	事業	R2 年度				
事業実施	施方法	補助					事務区分	l			事業区分		■ 補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R7	年度	
補助	率	県1/2							法 定	受託事			こその他	年度	0 年	度)			
区分	事	 業費	国	車	起	債	そ(の他		_	-般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額		9, 000									9, 00	0							
[予算額の推	移等]																(単位	: 千円)	
	区	分		30年度	令和元年度	2 年度							実績等を	と踏まえた	2年度の変更点	į			
当	首初 予 算	額の推	移			9, 000													
2 月	現計予	算額の	推移				1												
	決 算 額	の推移					-												
前年度ま主な増減	越理由																		
[成果指標等				2.0左座	△和二左曲	0.左座	0.左座	1	左莊				口捶。	七抽の子	2十. 往答坦加				
	古町セト7	分 び三セク会 ^社	+ ^		令和元年度	2年度	3年度	4	年度				日信『	拍標の考	え方・積算根拠				
成果指標	の補助に。	より、新駅の	か設(目標)																
	置を促進す	する	実績	-															
活動指標			(目標) 実績							市町た	が実施する事態	業に	対する補助で	あり、活	動指標の設定に	なじまない			
他県の		・駅舎、 事業費 その他県に	29年度「高岡 こ線橋等の 設約8億円(E おいても、 設の建設費に	失道施設 ■1/3、県1/ R舎やホー』	/3、地元市1 ム等の鉄道加	施設や連絡	.通路・駅前	前広場			の有無・ 分担		■ 無 〕 有 ³ 役割分担)	≨業名					

並行在来線対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内		部局名	地域戦略部	ĮŠ	課名	坦	域鉄道課		課長名	大石	秀昭
事業	主体	県			-11-		自 治 事	務		■ 実行予算	事業	H24	年度	事業終了		
事業実	施方法	直営			事務			事業区分] 補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	力率	_					法定受託事	事務	Ιc	」その他	年度	9	年	(兄旦し牛) 度)		
福井県長期	#ビジョン	分 野	〔 まちづく「	J		1								<i>i</i> ~,		
における		政 策		度のまちづくり		ı	関連する	県の計画等	[J	
[事業目的]																
単 沿線	息市町 経済	各界か <i>どで</i> 精	ま成する福井県す	拉行在来線対策協議	会(平成2	5 年	E3目291	日設置)にお	1.1	て 並行在:	来線の経	学形能な	列車(の運行形能	等を協議	義丨.
経営計画家					A (1%2	0 7	-0,120,	100	•	C(IE IE.	/< 49/ < 2 40		71		47 C 1000 II	1 2 O (
[事業内容]																
			事会の開催													
1(2)外音		ゲー会議の閉	引作													
	はの失心 出前講座の3	実施														
- <u>ज</u> े	位行在来線 ·	ノーフレット	∙の作成													
(4) JF	R派遣職員的	負担金														
[受益者]	県民全体						[想定され	る受益者数]	_	_						
		無無														
		□有	事業名													
共事業のま		(実績)						TF 1. の	,							
前事業の有	ままま 美領 日本・美領						ф	町との連携状況	C							
[事業の評価	西]						•									
		前年度の実	注		実績を踏ま	ミえた	令和2年度	の変更点								
		、幹事会の開催														
・外部アドル	バイザー会議	、幹事会の開 の開催(年 4 末現在 3 5	回)	・外部ア	ドバイザー会	€議の)開催(年4[回→年2回)								

並行在来線対策事業

	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	一部内	ካ 	部局名	部局名 地域戦略部 課名 地域鉄道課 課長名 大石						大石	秀昭		
事業主	体	県							自 治 事		■ 実行予算	事業	H24	年度					
事業実施	方法	直営					事務区分			事業区分	口補助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度		
補助	率	_							法定受託事		口 その他	年度	9	年	度)				
区分	事	業費	国属	1	起位	債	そ(その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						国庫、その他財源の名称等					
予算額																			
「ヌ質婦の推	49年1	12, 546								12, 546									
[予算額の推	·移守」 区	分		20年度	令和元年度	2 年度	<u> </u>				宝结竿力	と踏まえた	2 年度の7	赤田占		(単位:	: 千円)		
N/			16								天根守?	「始まんだ	2 平及の	交 史					
		額の推		1, 681	· ·	12, 546	<u> </u>												
2 月		算額の	推 移	12, 707	29, 008				▶●外部	アドバイザー会	:議開催回数の縮	小							
	決 算 額	の推移		10, 504															
前年度ま 主な増減			{線準備会社設 │本から、鉄道							增加									
	0.14.15.7																		
[成果指標等				0055	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0 fz #	0.55	4.5	· #		D.1#	₩₩₩₩	1+ /m	- +D +hn					
[成果指標等	の推移]	分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4 年	度		目標・	指標の考え	え方・積算	車根拠					
成果指標等	区	泉会社の設立	立と (目標) 実績	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4 年		を達成するため		指標の考え	え方・積算	[根拠					
	区 並行在来総 安定的な過	泉会社の設立 軍営 泉対策協議会	実績	30年度	令和元年度	2 年度	3年度	4 年		を達成するため		指標の考え	え方・積算	〕根拠					